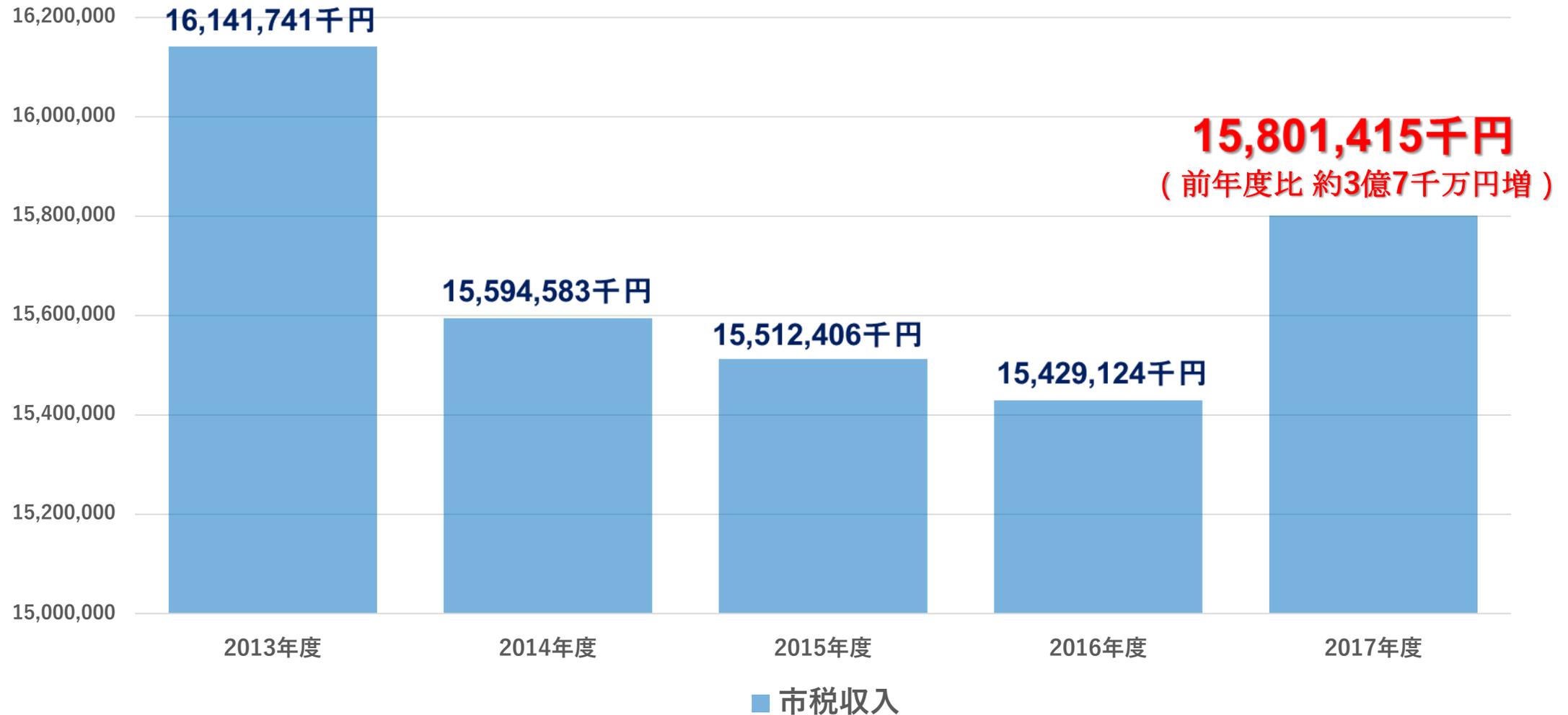


ワクワク度日本一のまち実現に向けて

2019年3月9日

西条市長 玉井 敏久

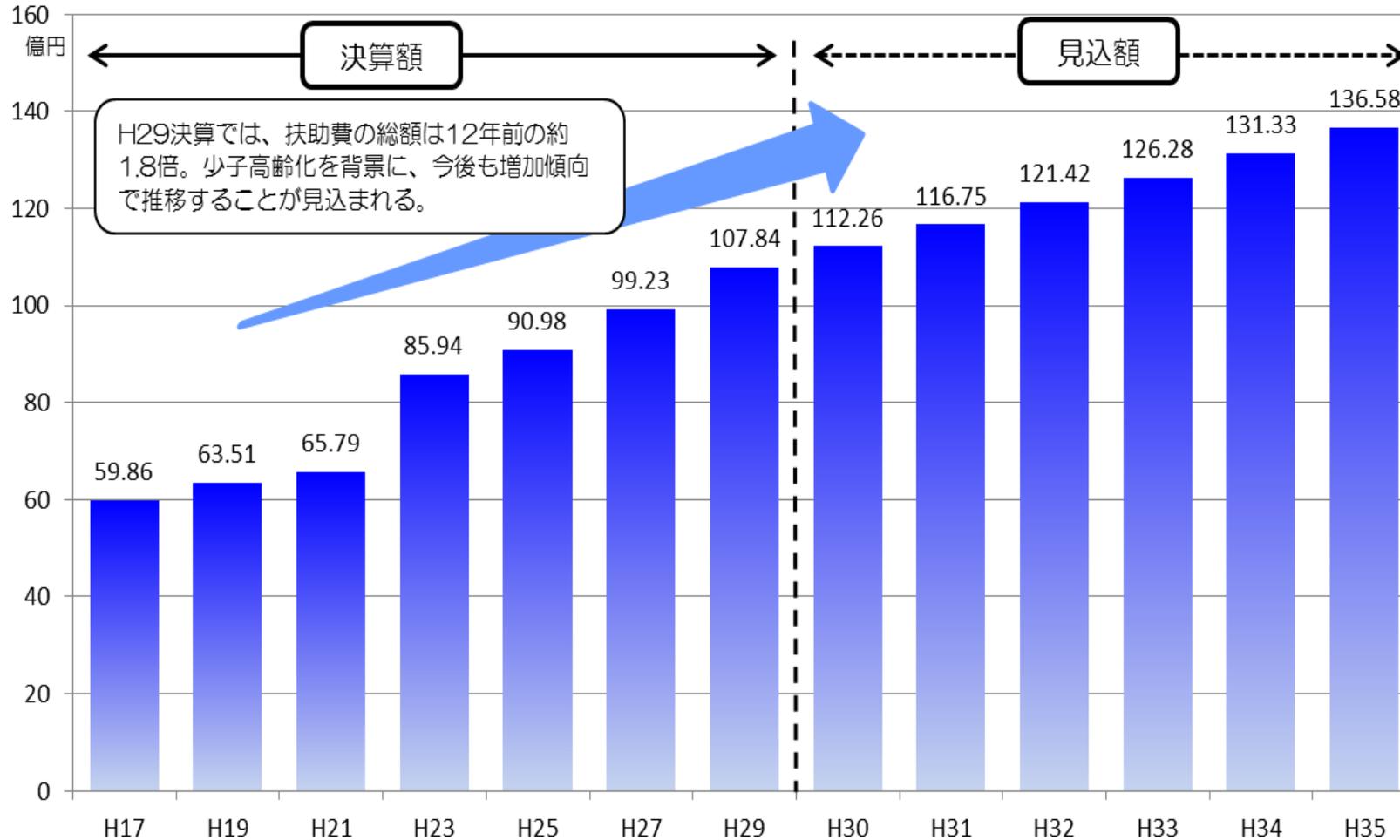
減少傾向が続いていた市税収入が2017年度には増加に転じる



※ 一方で、歳出増加も続いており、継続した財源確保に取り組んでいく必要がある。

増え続ける扶助費

福祉・医療・子育て等にかかる費用（扶助費）の推移

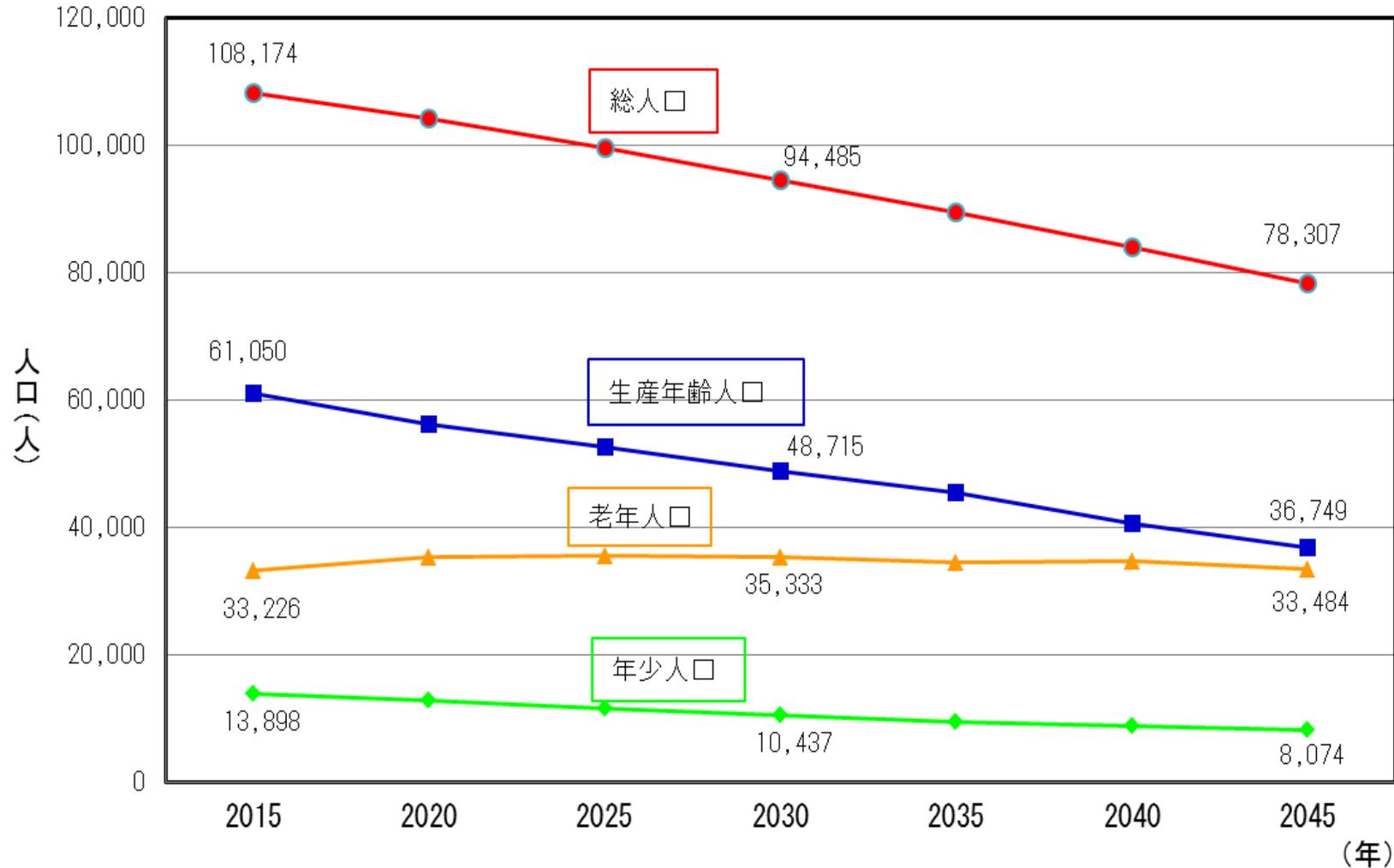


H29決算では、扶助費の総額は12年前の約1.8倍。少子高齢化を背景に、今後も増加傾向で推移することが見込まれる。

少子高齢化を背景に、福祉・医療・子育て等に係る費用（扶助費）は、今後も増加傾向で推移するものと予測されます。

西条市の人口推計

年齢3区分別人口の推移(西条市)2015年から2045年

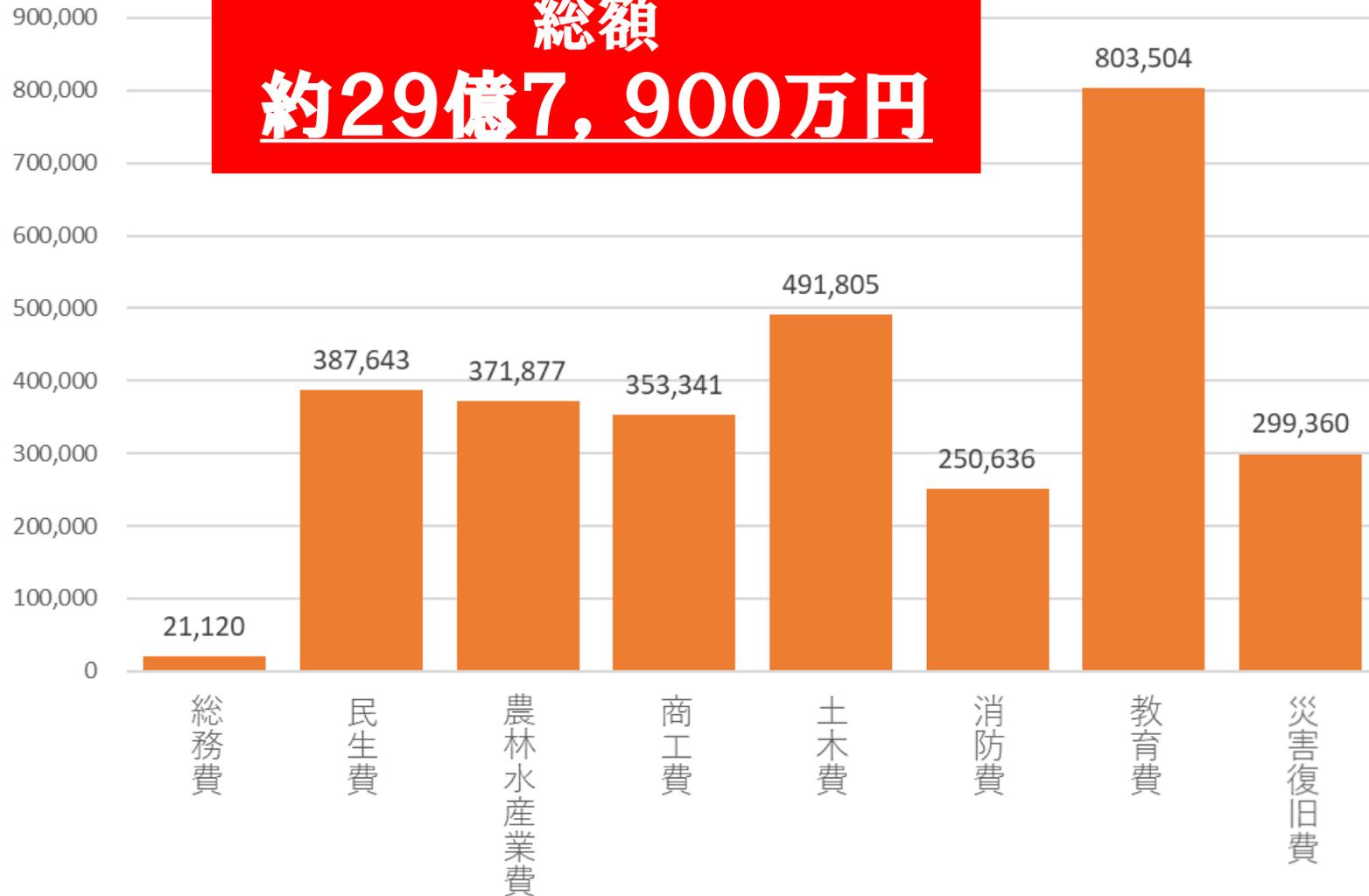


増え続けてきた老年人口も2025年にピークを迎え、その後はすべての区分で人口減少が見込まれています。

人口が減少することにより、市税や地方交付税の減少が見込まれます。

獲得した新規補助金等の累計 (2017年～2018年予算分)

総額
約29億7,900万円



主な事業

2017年度

国民体育大会市町等競技施設整備費
地方創生推進交付金
丹原中央公園・小松中央公園整備事業費
ICTを活用したスマートスクール実証事業費
社会福祉施設建設事業費

2018年度

小中学校空調設備整備事業費
(仮称)新泉町団地整備事業費
移住促進事業費
国営ほ場整備事業費
地域子育て支援センター事業費
ICTを活用したスマートスクール実証事業費

～ワクワク度日本一のまちづくりに向けて～

5つの基本政策

- ◇ 「市民主役の西条」の実現！
- ◇ 「住みたい西条」の実現！
- ◇ 「市民と進める行財政改革」の実現！
- ◇ 「夢が持てるまち西条」の実現！
- ◇ 「つながり広がる西条」の実現！

～ワクワク度日本一のまちづくり～
市長任期の折り返しを迎えて

「市民主役の西条」
の実現に向けて

◇「市民主役の西条」の実現に向けて◇

モデル地区を中心に
地域自治組織設立に向けた
動きが進んでいます

【進展】



大町校区



橘校区

■昨年度から「地域自治」と「市民と行政の協働によるまちづくり」を推進。

■本年度から大町校区と橘校区をモデル地区に地域自治組織の設立の動きを進めている。

◇「市民主役の西条」の実現に向けて◇

市民の声を伺う
機会の多様化を目指して
取り組んでいます

【進展】



■自治会などのグループや団体を対象とする「市長と井戸端会議」を開催。

■住民と行政が課題を共有し協働で取り組むきっかけ作りの場として「タウンミーティング」を開催。

～ワクワク度日本一のまちづくり～
市長任期の折り返しを迎えて

「住みたい西条」
の実現に向けて

◇「住みたい西条」の実現に向けて◇

2018日本ICT 教育アワードを受賞しました

【進展】



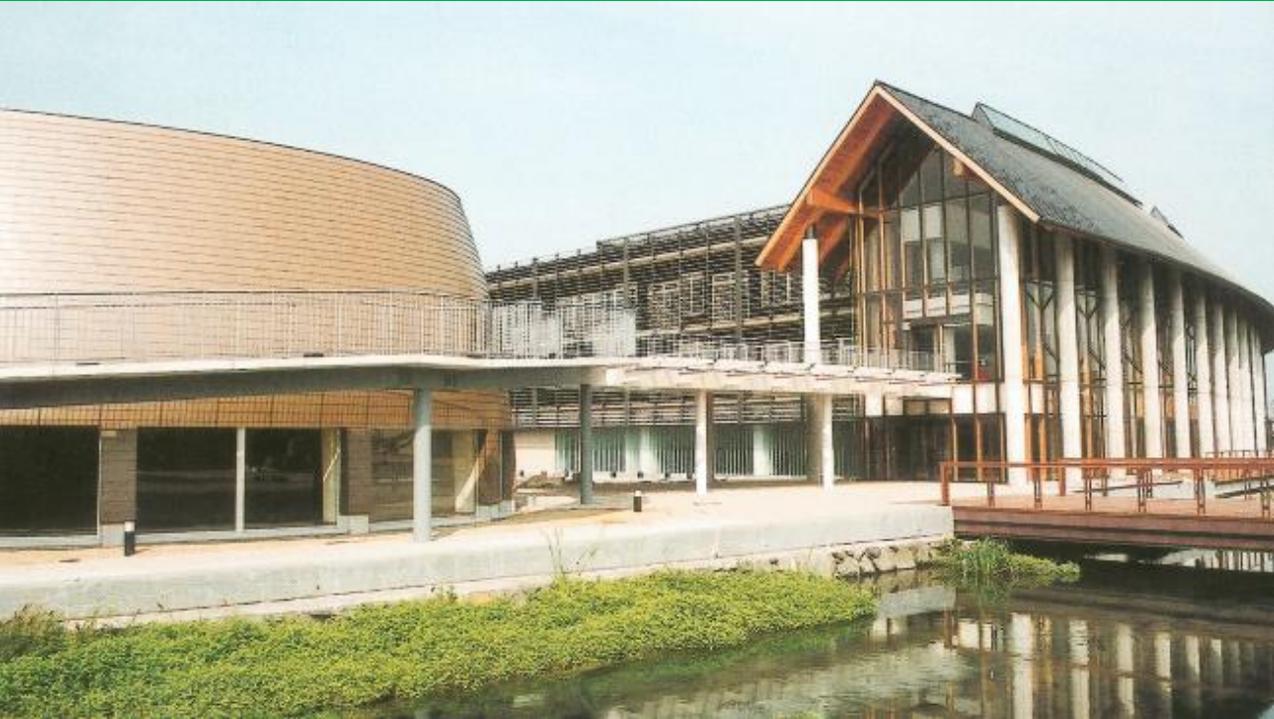
■全国ICT教育首長協議会の加盟自治体で
最も優れた自治体に贈られる「2018日本
ICT教育アワード」を受賞。

■全国各地から視察の依頼が相次いでいる。

◇ 「住みたい西条」の実現に向けて◇

健康都市を目指す第一歩として
「わくわく健康ポイント」を
開始しました

【新規】



■ウォーキングや健康診断を受診するとポイントがたまり、商品券などに交換ができる「わくわく健康ポイント」を開始。

■市民の健康増進を図ることで健康上問題が無い状態で日常生活を送れる期間である「健康寿命」を延伸することが目的。

◇「住みたい西条」の実現に向けて◇

西消防署河北出張所の整備が
着々と進んでいます

【進展】



- 河北地区（人口約1万4千人）が対象。
- 2019年10月運用開始に向け建設中。
- これまで平均約11分かかっていた河北地区の救急車の到着所要時間を5分以上短縮。（全国平均8.6分）。

◇「住みたい西条」の実現に向けて◇

すべての小中学校と公立幼稚園へ
エアコン整備を進めています

【進展】



■ **他の県内自治体の動きに先駆けて**小中学校と公立幼稚園へのエアコン設置事業に着手。

■ 来年度中には市内すべての小中学校と公立幼稚園にエアコンを設置予定。

～ワクワク度日本一のまちづくり～
市長任期の折り返しを迎えて

「市民と進める行財政改革」
の実現に向けて

◇「市民と進める行財政改革」の実現に向けて◇

**積極的な行財政改革を
推進しています**

【進展】



■将来世代に負担を負わせることなく、安心して「住みよいまち西条」を受け継いでいくことが重要。

■維持管理費用の増大が見込まれる各種使用料見直しや公共インフラのあり方検討などの取組を進めている。

～ワクワク度日本一のまちづくり～
市長任期の折り返しを迎えて

「夢が持てるまち西条」
の実現に向けて

◇「夢が持てるまち西条」の実現に向けて◇

日本オリンピック委員会 (JOC)の競技別強化センター に認定されました

【進展】



■「石鎚クライミングパークSAIJO」に
国内でも数少ないスピード競技場を整備。

■日本オリンピック委員会（JOC）から
競技別強化センターの認定を受ける。

■昨年10月にオーストリア共和国と日本代表
チームの合同合宿を開催した。

◇「夢が持てるまち西条」の実現に向けて◇

情報通信技術（ICT）を用いたスマートシティの取組が進んでいます

【進展】



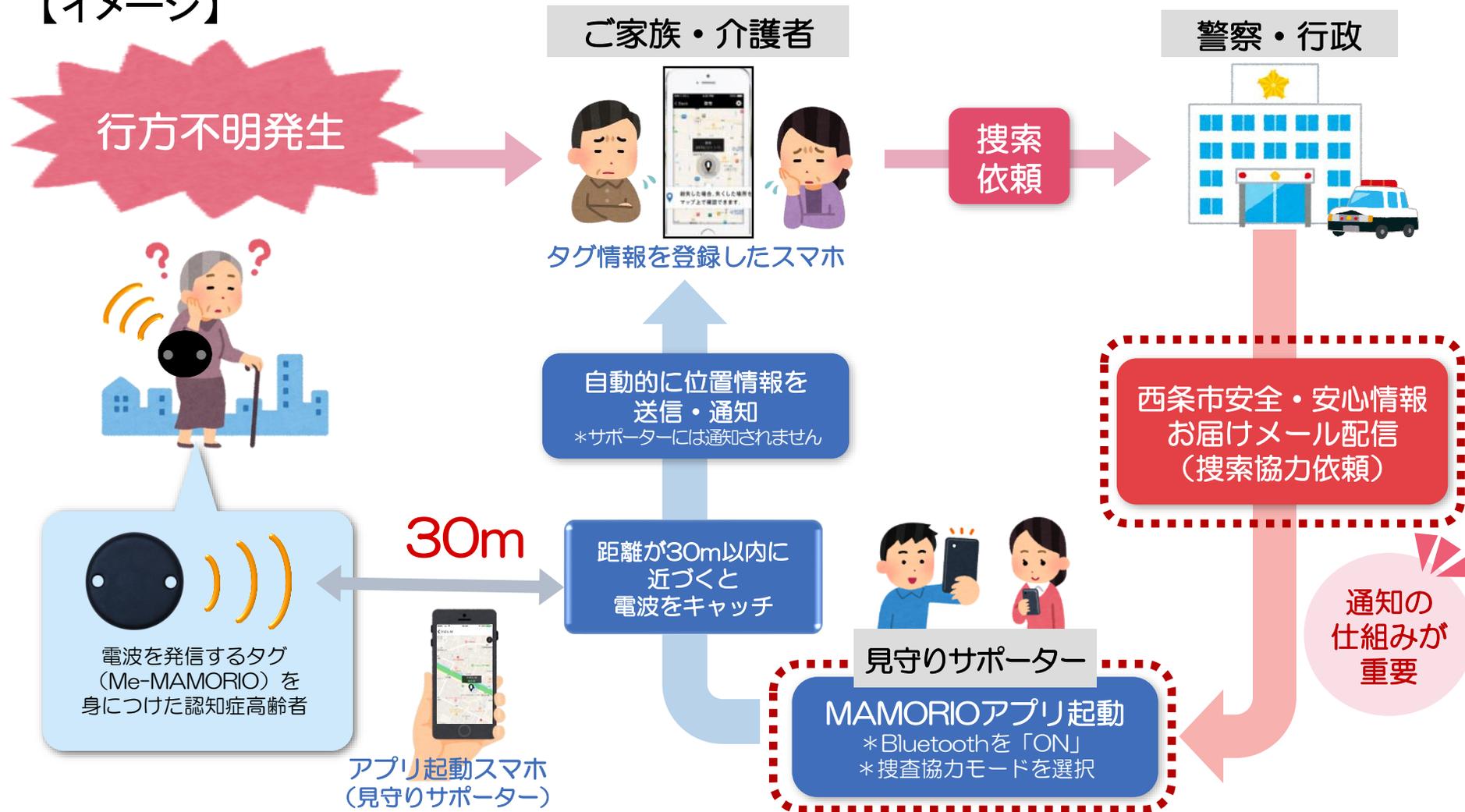
■ ICTを活用して地域が抱える様々な課題の解決を図る「スマートシティ」を推進。

■ ICタグを使った高齢者見守り、健診WEB予約システムや子育てモバイルサービスの導入、排水機場水位の遠隔監視実証実験に取り組んでいる。

スマートシティ構築トライアル事業 スマートフォンを活用したゆるやかな高齢者への見守り支援



【イメージ】



不明者発見後は、西条市安全・安心情報お届けメールから発見の連絡が入ります

◇「夢が持てるまち西条」の実現に向けて◇

「西条市ワクワク大賞」を 創設しました

【新規】



■本市の名声を高め、市民に希望及び活力を与え、または広く市民に感動を与えた者に対して授与する「西条市ワクワク大賞」を創設。

■昨年10月に1回目として5名の受賞者を表彰して功績を称えた。

◇「夢が持てるまち西条」の実現に向けて◇

地域観光サービス統括会社 「株式会社ソラヤマいしづち」を 設立しました

【新規】



■魅力的な観光地域の形成を進める法人（DMC）として第三セクター「株式会社ソラヤマいしづち」を設立。

■同社を中心に官民協働及び地域間連携を推進し、交流人口を増加させる持続可能な事業の創出を図る。

～ワクワク度日本一のまちづくり～
市長任期の折り返しを迎えて

「つながり広がる西条」
の実現に向けて

◇「つながり広がる西条」の実現に向けて◇

LOVE SAIJO ファンクラブの取組が広がって います

【進展】



■西条が好きな人が集まり、西条を応援する新たなコミュニティ「LOVE SAIJO ファンクラブ」を開設。

■**会員数2,103名**（3月5日時点）
市内会員822名 市外会員1,281名
団体会員49団体

◇「つながり広がる西条」の実現に向けて◇

オーストリア共和国の ホストタウンに登録されました

【進展】



■2020東京オリンピック事前キャンプ地の誘致活動を進めているオーストリア共和国。

■昨年4月に内閣府からの「ホストタウン」の認定を受けた。

■昨年10月には昨年訪問したケルンテン州セーボーデン市からクリナー市長が訪れ、都市間交流が更に進展した。

◇「つながり広がる西条」の実現に向けて◇

ベトナム社会主義共和国フエ市と 友好都市提携を締結しました

【進展】



■ 2005年から交流を続けてきたフエ市。

■ 昨年4月に相互理解の促進と交流の発展を誓って**友好都市提携を締結**。

■ 締結を契機に、経済・文化など様々な分野で交流を深めていく。

◇「つながり広がる西条」の実現に向けて◇

どの自治体よりも素早く
被災地支援に取り組みました

【新規】



■大規模災害時には広域連携が重要。

■他の県内自治体よりも素早く備蓄食料や飲料水などの支援物資を被災地に送り届けた。

■消防大型水槽車を使用し、最もニーズの高い水について継続的な支援を行なった。

大保木地区に関する話題として

◆ 地域の宝である西条の水を大切に守り続けます

- 地下水保全協議会からの意見書を受け、先人の想いを胸に西条の水を守り続け、東予地域の発展に繋いでいきます。

◆ 石鎚ふれあいの里改修整備工事を実施中

- 順調に工事が進み、本年3月に完成します。

◆ ベトナム国フエ市との交流が深まっています

- 大保木地区の皆さんと関係が深いフエ市との交流について、本年は「フエ伝統工芸フェスティバル」に出展します。

大きなまち

「2019年版住みたい田舎ベストランキング」 2部門で**全国第5位**を獲得しました！！

部 門	全国ランキング (人口10万人以上)	四国ランキング
総合部門	1 2 位	1 位
若者世代が住みたい田舎部門	5 位	1 位
子育て世代が住みたい田舎部門	1 5 位	1 位
シニア世代が住みたい田舎部門	1 3 位	1 位
自然の恵み部門	5 位	1 位



平成30年度、完全無料で個別対応型の移住体験ツアーや「えひめ西条！移住応援大使」の起用によるプロモーション活動など各種移住施策の推進により、移住担当課を経由した

実質的な移住者が前年度の4人から24人と6倍に！

(株)宝島社出版『田舎暮らしの本』の2月号特集「2019年版 第7回住みたい田舎ベストランキング」

今後も引き続いて
ワクワク度日本一のまちづくりを
推進していきます

西条市長 玉井 敏久